

秋田木質バイオマス発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、ユナイテッド計画株式会社（所在地：秋田県潟上市 取締役社長：平野久貴）の計画する木質バイオマス発電事業に 7 億円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

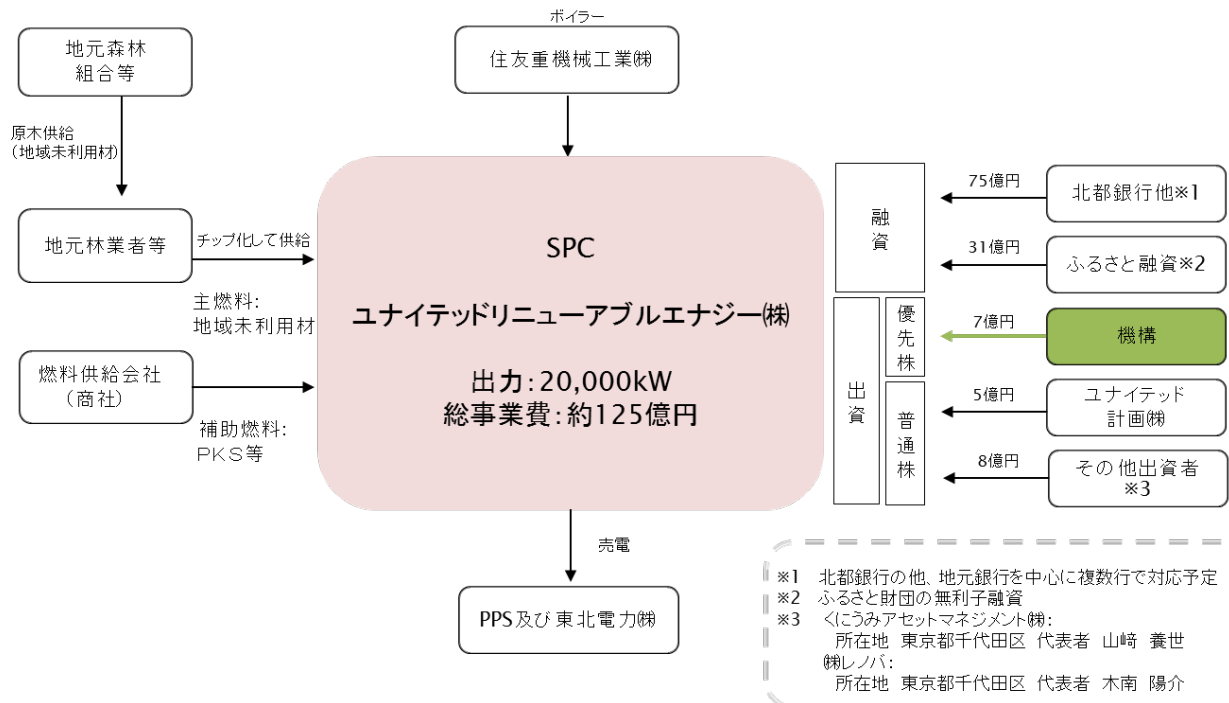
本事業は、秋田県秋田市向浜において計画される最大出力 20,000 kW の木質バイオマス発電事業であり、東北地方では最大規模のものとなります。

木質バイオマス発電事業は、バイオマス燃料の調達量を安定的に確保することが事業のポイントと理解されていますが、本プロジェクトでは地元の林業者等と連携することで地域の間伐材を安定的に調達する体制を構築し、さらに補助燃料として PKS(Palm Kernel Shell)等を調達することを計画しています。

また、地元林業者との連携においては、これまで需要の乏しかった県内未利用材を本プロジェクトで有効活用することで地元林業への波及効果等の地域振興が期待できます。

機構は、本プロジェクトについて事業者が林業者や地域のステークホルダーと連携して地域活性化を目指す事業であること、機構の出資が民間資金の呼び水となり、安定電源としての期待が高く、地域活性化効果も高い木質バイオマス発電事業の普及・促進に貢献できることに鑑み、出資決定致しました。

1. スキーム概要



(説明)

- ① 本事業の SPC であるユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社に、メインスポンサーである、ユナイテッド計画株式会社が 5 億円、くふうみアセットマネジメント株式会社、株式会社レノバが各 4 億円を普通株で出資し、機構が 7 億円を優先株で出資します。融資は地元金融機関を中心に 75 億円、秋田県のふるさと融資（無利子融資）31 億円を予定しています。

- ② SPC は上記資金を利用し、住友重機械工業(株)製のボイラーを使用する木質バイオマス発電所を建設します。設備稼働後は、SPC が発電設備の維持・管理・保守を担います。また、発電電力は特定規模電気事業者（PPS）及び東北電力(株)へ売電します。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 秋田県はスギ人工林資源が全国一の資源量を誇る等、豊富な森林資源を有しているものの、特に県南部では積雪によるまがり材等が多く、間伐等による隣地残材も未利用のまま大量に蓄積している。本事業は、これら地元未利用材を活用することで、適正な森林管理、地元林業や関連産業の活性化に貢献するものであること。また、本発電所における新規雇用（25名）や、関連するチップ工場等での新規雇用等、幅広い範囲の地域経済活性化効果が見込まれること。
- ② 資金調達においては、秋田県のふるさと融資や地域金融機関による融資等、地域の関係者が協働して進めるプロジェクトであること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は、77,088t-CO2/年を想定）。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
